

令和3年度  
事業報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日

公益財団法人

ひと・健康・未来研究財団

# 令和 3 年度事業報告

(期間:令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日)

## 事業概況

ひとの健やかでこころ豊かな未来を実現するために、健全な食生活と予防医学に重点をおいた研究、さらに自然との共生を基本に、こころの健康を目指した研究を振興し、もって国民の健康増進と生活の質の向上に寄与する。

## 公益事業として

(公1)ひとの健やかでこころ豊かな未来を実現するための研究調査事業を実施

(公2)ひとの健やかでこころ豊かな未来を実現するための研究に関する助成事業を実施

## 事業の内容

定款の第 4 条における 1、2、3 についてはいずれも研究調査事業の具体的内容であり、事業としては 1 つと考えているため、公 1 にまとめている。

令和 3 年度(2021 年度)の活動実績の概要は以下の通り。

### 1. ひとの健やかでこころ豊かな未来を実現するための研究調査事業(公1)

#### (1)「ひと・健康・未来」の研究調査事業

ひとの健やかでこころ豊かな未来を実現するために、文科と理科の壁を取り払い知のフロンティアとして実施している。この事業は不特定多数の者の利益の増進に寄与することを目的としており、当財団役員が中心的な役割を果たし、その結果を公表している。

#### (1)－①研究会の推進(未来研究会の開催)

財団役員を含む科学者と外部の知の交流として、当財団役員の企画により実施している。令和 3 年度は第 46 回から第 50 回を実施した。日程、講師、テーマは以下の通り。

##### ●第 46 回 未来研究会

日 程/ 令和 3 年 6 月 18 日(金)

講 師/ 倉恒 弘彦(株式会社 FMCC 代表取締役)

テーマ/ 「疲労研究の最新の動向」

日本における疲労の実態を紹介するとともに、最近明らかになってきたいくつかの客観的な疲労評価法や疲労に陥るメカニズムについて講演。

##### ●第 47 回 未来研究会

日 程/ 令和 3 年 7 月 13 日(火)

講 師/ 花村 周寛(大阪府立大学 教授)

テーマ/ 「まなざしのデザイン」

昨今ますます閉塞する社会状況に対応するため、私たちは新しい角度から眺めることが求められているが、年を追うごとに私たちの視点は閉塞している。なぜ私たちはモノの見方が変わらないのか。そしてどうすれば私たちのモノの見方を変えることができるのか。本講演ではそのような見方の変革について考察。

### ●第48回 未来研究会

日 程/ 令和3年8月19日(木)

講 師/ 高倉 喜信(京都大学副学長)

テーマ/ 「新型コロナウイルスから人類を救う DDS」

新型コロナワクチンはCovid-19を収束させるための切り札と考えられており、現在、精力的に接種が進められている。このワクチンは、mRNAを脂質ナノ粒子に封入した、いわゆる DDS(ドラッグデリバリーシステム)製剤である。DDS研究の現状及び将来展望について講演。

### ●第49回 未来研究会

日 程/ 令和3年11月24日(水)

講 師/ 砂田 向壺(公益社団法人モバイル・ホスピタル・インターナショナル理事長)

テーマ/ 「モバイル・ホスピタル・インターナショナルの取り組み」

「災害時における船舶を活用した医療提供体制の整備の推進に関する法律案」が成立するまでの経緯を中心に、病院船の実現に向けての取り組みについて講演。

### ●第50回 未来研究会

日 程/ 令和4年2月14日(月)

講 師/ 山内 太郎(北海道大学大学院教授)

テーマ/ 「子どもの身体に異変が起きている／世界と日本の子どもの体格・体力」

先進国、途上国を問わず、子どもの肥満化と低体力が世界的に問題となっている。日本においては、体力および身体活動量は低下傾向が見られるものの、肥満傾向は消失し、若年女性の痩身が問題視されている。アフリカの狩猟採集民の子どもの事例も紹介し、子どもの肥満を予防し、体力と健康を向上させる方策について講演。

## (1)－②市民公開講座の開催

研究の成果をまとめ、市民公開講座「ひと・健康・未来シンポジウム」を開催し、公衆への啓蒙活動としている。開催については当財団役員を含む専門家が関与し、企画から運営にあたっている。参加は自由であり、参加費は無料。市民公開講座は、令和3年度もコロナ感染拡大防止のため、開催を延期した。次年度以降、コロナ感染状況を注視し、オンラインでの開催を目指す。尚、市民公開講座の代替事業として「ポストコロナにどのような未来を築くか」をコンセプトに「座談会シリーズ」を企画、財団機関誌に順次掲載予定。

### ●第1回 座談会シリーズ

・日 程/ 令和4年2月5日(土)

・テーマ/ 「パンデミックの年に入学した大学生の苦悩と希望」

## (1)－③成果の公開と出版活動(出版)

市民公開講座、未来研究会の成果をより多くの人々に周知する為に令和3年度は3回、機関誌「ひと・健康・未来」を発刊し、講演内容ほかを掲載している。更に、ホームページ上で開催告知や機関誌のアーカイブをPDFファイルにして公開している。機関紙の掲載内容は以下の通り。

### ●「ひと・健康・未来」28号(令和3年7月発刊)

- ・特集/ 財団理事による、特別座談会「コロナ後の世界を生きるための手掛かりを求めて」
- ・寄稿/ 「不思議の国のパンデミック」、「食と農の視点から」、「コロナ禍で見直す食生活と生活習慣」
- ・コラム/ 食と農の旅「フランスの田舎の豊かさ」

### ●「ひと・健康・未来」29号(令和3年11月発刊)

- ・未来研究会/ 第46回「疲労研究の最新の動向」  
第47回「まなぎしのデザイン」  
第48回「新型コロナウイルスから人類を救うDDS」
- ・ホットインタビュー/ 「“がん”は誰にでも突然やってくる災害のようなもの」
- ・助成事業/ 2021年度研究助成採用結果
- ・コラム/ 食と農の旅「歴史が埋め込まれたイタリアの食」

### ●「ひと・健康・未来」30号(令和4年3月発刊)

- ・スペシャルインタビュー/ 「火星に住むために二酸化炭素の回収・合成・宇宙開発の研究に挑戦」
- ・未来研究会/ 第49回「モバイル・ホスピタル・インターナショナルの取り組み」
- ・寄稿/ 「カウンター越しの関係から寄り添う関係へ。薬剤師がファシリテーターをつとめる高齢者向けアートのワークショップ」、「この数ヶ月、コロナ禍での経験」
- ・助成事業/ 令和3年度助成研究発表会報告、研究助成採用者メッセージ
- ・コラム/ 食と農の旅「インドネシア食文化の不思議」

## (2)「ひと・健康・未来シンポジウム」の調査研究事業

ひとの健やかでこころ豊かな未来を実現するための調査研究と普及及び啓発事業。こころ、健康、自然環境の情報の調査研究を行い、普及と啓発を行っている。

### (2)－①情報の収集と公開講座の計画

財団役員の科学者を含むプロジェクトにおいて学術情報を収集すると共に他機関の研究者に呼び掛け、知識の普及と啓発を行うためにシンポジウムを計画した。しかし、令和3年度はコロナの感染拡大防止のため、開催せず延期した。次年度以降の新しい開催方法について検討を進める。

### (2)－②市民公開講座の開催

年1回は、財団の拠点である京都で市民公開講座「ひと・健康・未来シンポジウム」を開

催し、知識の普及と啓発を図っている。参加は自由であり、参加費は無料。令和 3 年度はコロナの感染拡大防止のため、開催せず延期した。

## (2)－③成果の公開と出版

市民公開講座の成果をより多くの人々に周知するために、テーマがまとまった段階で発表者の論文等を集め印刷物として出版している。当該市民公開講座は、令和 3 年度の開催が延期されたため、機関紙やホームページ上での新規掲載は見送ったが、アーカイブは PDF ファイルにて公開している。

## (3)海外諸団体との連絡協力のための調査研究事業

ひとの健やかでこころ豊かな未来を実現するための調査研究にかかわる海外諸団体との連絡および協力のための事業。こころ、健康、自然環境の調査研究に関する海外諸団体との連絡および協力を進めている。

### (3)－①海外諸団体との連絡協力

財団役員の科学者を含むプロジェクトにおいて海外研究者、諸団体との連絡と協力を進め、研究者に呼び掛けて連絡と協力を行い、普及と啓発を行うために国際的な研究者によるフォーラムを計画、開催する。令和 3 年度は役員から、上記事業に関して、実施できる事業提案がなく、おこなっていない。今後、テーマのあり方について継続して協議を続ける。

### (3)－②公開講座の開催

調査研究テーマに関して、数年に 1 回「国際フォーラム」を開催し、知識の普及と啓発を図る。上記理由にて、令和 3 年度は実施していない。

## (4)共同研究と委託研究

ひとの健やかでこころ豊かな未来を実現するための基礎研究や臨床研究、さらに調査研究などを共同研究や委託研究により進める事業。健全な食生活と予防医学に重点をおいた研究、さらに自然との共生を基本に、こころの健康を目指した研究などを進める研究者と共同研究と委託研究を進める。

### (4)－①共同研究と委託事業の推進

財団役員の専門家が上記に関連するテーマについて検討し、本財団の目的に適合する基礎研究や臨床研究を進めている研究者を検討し共同研究または委託研究を行う。令和 3 年度は役員から、上記事業に関して、実施できる事業提案がなく、おこなっていない。今後、テーマのあり方について継続して協議を続ける。

### (4)－②研究成果の公開

上記理由にて、令和 3 年度は実施していない。

## (5)がんの温熱療法の調査と普及促進

ひとの健やかでこころ豊かな未来を実現するための調査研究のひとつとして、がんの温熱療法の普及促進のための調査と広報事業である。令和 3 年度は役員から、上記事業に関して、実施できる事業提案がなく、おこなっていない。今後テーマのあり方について継続して協議を続ける。

#### (5)－①情報収集活動

上記理由にて、令和 3 年度は実施していない。

#### (5)－②広報活動

上記理由にて、令和 3 年度は実施していない。

## 2. ひとの健やかでこころ豊かな未来を実現するための研究に関する助成事業(公 2)

### (1)「食品」、「環境」、「医学」、「福祉」をテーマとする公募による研究助成

ひとの健やかでこころ豊かな未来を実現するための研究に関する助成事業。

#### (1)－①研究助成の申請及び選考

上記に関するテーマにおいて、重要な研究であるが科研費等の公的予算がなかなかおられないような研究をサポートしたいと考えている。公募の申請書を元に財団選考委員会が選考する。令和 3 年度は公募(令和 3 年 4 月 1 日～4 月 30 日)、選考委員会(令和 3 年 6 月 25 日)を実施した。令和 3 年度の応募総数は 422 件であった。採用件数 17 件(食品 2 件、環境 2 件、医学 9 件、福 4 件)、助成金総額は 1,532 万円。採用結果は以下の通り。

<食 品>採用件数:2 件

「伝統的発酵酵素ドリンクに基づく「淡路島ミキ」の開発・安定生産・保健機能解析」

林 将也／吉備国際大学農学部

「沖縄県産イカスミによるエストロゲン欠乏ラットの骨代謝に及ぼす影響」

長阪 玲子／東京海洋大学学術研究院食品生産科学部門

<環 境>採用件数:2 件

「食糧危機・地球温暖化回避にむけた塩害地の緑化・農地化技術

－天然鉱物の改質による脱塩材の開発－」

和嶋 隆昌／千葉大学大学院工学研究院

「定点映像・音声により遠くの森と実感的に繋がる環境学習プログラムの開発」

中村 和彦／東京大学大学院新領域創成科学研究科

<医 学>採用件数:9件

「食品と糖質の摂取による安価でヘルシーなインクレチン療法の学術基盤の構築」

三木 隆司／千葉大学大学院医学研究院

「With／after コロナ時代の新しい健康診断の提案:CT 検査で肺年齢を診る！」

田中 利恵／金沢大学医薬保健研究域

「認知症予防への応用を目指したカシスの記憶障害改善効果の解明」

中島 晶／弘前大学農学生命科学部

「マグネシウム摂取による腎不全進行抑制の機序解明」

山本 毅士／大阪大学大学院医学系研究科

「加齢黄斑変性に対する脂質代謝制御による新規治療法開発」

小沢 洋子／聖路加国際大学

「医療×気象ビッグデータ解析に基づく尿路結石疼痛発作リスク予測アルゴリズムの開発・検証」

大前 憲史／福島県立医科大学附属病院臨床研究教育推進部

「心臓のミトコンドリア品質維持における機能性食品の役割」

古川 希／名古屋大学大学院医学系研究科

「ヒト腸管を模倣したマイクロ流体デバイスによるプロバイオティクス新規評価系の確立」

津田 真弘／京都大学大学院薬学研究科

「がん患者のプレハビリテーションとして利用できる筋力トレーニング動画の開発」

小西 信子／国立がん研究センター東病院リハビリテーション科

<福 祉>採用件数:4 件

「メンタルヘルス対策としてのeスポーツの効果に関する研究」

滝 聖子／千葉工業大学社会システム科学部

「人生の最終段階に向けた意思表示のための死生観教育モデルの開発:ACPの普及を目指して」

大野 裕美／豊橋創造大学保健医療学部

「介護系外国人留学生と日本人看護学生の異文化相互理解向上に向けた教育実践の在り方」

長嶺 めぐみ／群馬パース大学保健科学部

「知的障害者の自立生活を構築する生活の資源の分析及び理解促進のための伝え方の検証」

田中 恵美子／東京家政大学

## (1)－②研究助成テーマの研究発表会の開催

研究助成を受けた研究者が研究成果の発表を行う。発表会には近隣の食品系、環境系、医学系、福祉系の大学を含めた各大学に招待状を送付し、参加費は無料である。

令和3年度は令和3年11月13日(土)にグランヴィア京都で、コロナ禍の影響によりハイブリッド形式で開催した。研究助成の意義を周知する目的で一般市民を公募により招待し、特別講演会を同日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、中止とした。これまでの特別講演の内容は機関誌に掲載されており、ホームページ上で機関誌のアーカイブをPDFファイルにして公開している。

### ●第18回助成研究発表会

日 程/ 令和3年11月13日(土) 11:30～17:00

会 場/ グランヴィア京都(ハイブリッド形式)

発 表 者/ 21名(全員オンライン)

参加役員/ 11名(オンサイト7名、オンライン4名)

特別講演/ コロナ感染拡大防止のため延期。

## 3. 評議員会及び理事会に関する事項

### (1)令和3年5月21日開催 定例理事会 ※完全リモート会議による

議事内容	審議結果
令和2年度事業報告等	承認
令和2年度決算報告	承認
次回評議員会の招集	令和3年6月18日書面決議
令和3年度職務執行状況報告	理事長、副理事長より報告

### (2)令和3年6月18日 定時評議員会 ※決議・報告の省略による全員同意

議事内容	審議結果
令和2年度事業報告等	理事長による報告
令和2年度決算報告	承認
令和3年度事業計画	理事長による報告
令和3年度事業収支予算	理事長による報告
令和3年度資金調達及び設備投資の見込み	理事長による報告
令和3年度選考委員選任	理事長による報告
役員選任	理事長による報告

(3)令和4年3月16日開催 定例理事会 ※リモート併用会議による

議事内容	審議結果
令和4年度事業計画案	承認
令和4年度事業収支予算案	承認
令和4年度資金調達及び設備投資の見込み	承認
令和4年度選考委員選出	選出
令和3年度職務執行状況報告	理事長、副理事長より報告

※本年度、新型コロナウイルスの影響により、決議・報告の省略の方法、リモート併用による開催の方法にて実施した。

以上